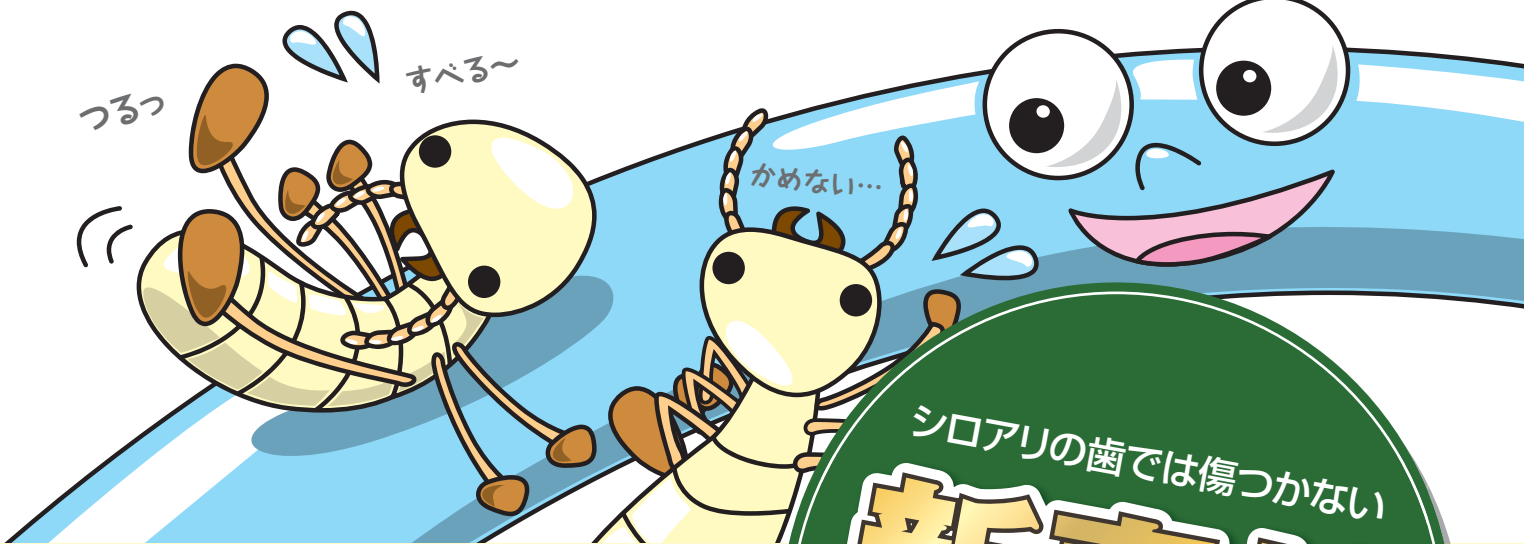


新防蟻ケーブル「ありタフ!」

これまで防蟻層として主流であったナイロンでは無く、
新しく「高密度ポリオレフィン」を用いた防蟻層材料を開発しました。
表面の滑り性が良く布設作業性が良好です。

シロアリ被害による
ケーブル張替が不要!!



■ケーブルの構造



高密度ポリオレフィン

シロアリの歯では傷つかない
新素材
ケーブルをガード!!

JAXA施設内で「ありタフ!」が使用されています。

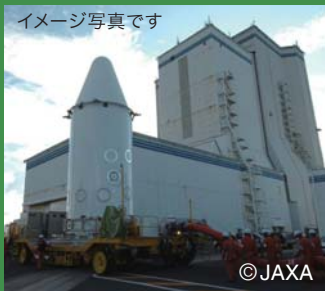
イメージ写真です



© JAXA

※ロケット内部にはご使用いたっておりません。

イメージ写真です



© JAXA

今回、JAXAの敷地内に「ありタフ!」を布設しました。使用後、何より反響が大きかったのは、そのすべり性です。一般的なナイロン防蟻ケーブルと比べて、当社の「ありタフ!」は摩擦係数が小さいため、通線性がよく、ナイロン防蟻ケーブルで計画された布設期間を大幅に短縮できました。「ありタフ!」の性能を熱心にPRし、このような嬉しい結果につながったことを、たいへん喜んでおります。

世界自然遺産・小笠原諸島でも使用

2011年に世界自然遺産として登録された小笠原諸島。豊かで独特な自然が広がるこの島は温暖な気候のためシロアリ被害が深刻な問題です。そこで使用されたのが「ありタフ!」です。弊社開発の新素材により、シロアリに対する防蟻はもちろん、つるつるしたケーブルは布設もしやすかったと、大変ご好評いただけました。



▶ 表面の滑り性

試験項目		従来品	開発品
		ナイロン12	新防蟻ケーブル
硬 度	ショアD	70	65
摩擦係数	μs	0.47	0.29

滑り性
40%
アップ

硬度はほぼ変わらず、
防蟻性・布設作業性が
大幅にアップします！

※試験方法：硬度 JIS K 7215、摩擦係数 ASTM D 1894

▶ 防蟻性能試験

試験方法 試料(ナイロン、高密度ポリオレフィン)正方形板、約2×2cm²、各5個をイエシロアリ職蟻150頭及び兵蟻15頭を試験体に放し、28°C×21日間静置した後、試験前後の質量を測定して食害による質量減少率を求めた。

試験結果 [質量減少率：(試験前質量－試験後質量)／試験前質量×100]

従来品	新製品	比較用
ナイロン12	高密度ポリオレフィン	スギ材
質量減少率 (%)	質量減少率 (%)	質量減少率 (%)
0.34	0.22	41.7
		
<p>ほぼ食害なし</p> <p>シロアリによる貫通穴等の食害はありませんが、試料の端部に多少の食害が見受けられます。</p>	<p>ほぼ食害なし</p> <p>シロアリによる貫通穴等の食害はありませんが、試料の端部に多少の食害が見受けられます。</p>	<p>ひどい食害でボロボロ</p> <p>シロアリの食害によりスギ材表面に多数の穴が空き、空洞になっており、シロアリに対しては無防備です。</p>

従来品と
同等以上!

■ 電線を使用する様々な場所で採用されています。

ケーブルの防蟻加工を承ります!



工場



住宅



電力会社



インフラ整備

タツタ電線株式会社 通信電線事業本部

本 社 〒578-8585 大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号

東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目2番4号 住友不動産東新橋ビル6号館6階

福岡支店 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目13番8号 九電不動産ビル5階

TEL. 06-6721-3333 FAX. 06-6725-2376

TEL. 03-5402-3793 FAX. 03-5402-3796

TEL. 092-771-3646 FAX. 092-771-3648

www.tatsuta.co.jp

OS1605